

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	スマートIC整備事業			
予算科目	8 款 2 項 5 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課: 土木管理課		電話番号(内線): 578	
記入者情報	所属長: 木曾 信之		担当責任者: 宮崎 栄司	
実施期間	【開始年度】平成 26 年度 【開始年度】平成31年度			
事業の対象	地域住民及び関係機関			

事業の目的	過疎化、少子高齢化が急速に進行する中山地域にスマートインターチェンジを設置し、交通の利便性の向上、災害時における救援救護ルートの確保、救急医療機能の充実・向上等を図ることにより、地域の振興・活性化に資する。
事業の内容	(仮称)中山スマートICを整備するとともに、併せてスマートICに連結する市道日尾野引坂線の拡幅改良を実施する。
改善策の 具体的 取り組み (当初)	
改善策の 具体的 取り組み	

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	0	28,047	0	10,223
	人件費	0	3,977	795	3,977
	合計	0	32,024	795	14,200
人件費 内訳	人工数	0.00	0.50	0.10	0.50
	人件費単価	0	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	3,977	795	3,977
財源内訳	国庫支出金	0	15,960	0	5,886
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	10,900	0	4,300
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	5,164	795	4,014

成果指標				
成果指標	整備率(%)=(スマートIC(ON・OFFランプ)整備済延長+市道日尾野引坂線整備済延長)/(スマートIC(ON・OFFランプ)計画延長+市道日尾野引坂線計画延長)			
指標設定の考え方	関係2路線の計画延長に対する整備済延長により整備率を計る。スマートIC(ON・OFFランプ)計画延長:514m、市道日尾野引坂線計画延長:840m【平成27年5月現在計画延長】			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標31年度
目標	0	0	0	100
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	市道日尾野引坂線の整備については、全て伊予市が実施する事業である。一方で、スマートIC(ON・OFFランプ)の整備については、工事及び工事に伴う測量・調査・設計業務を西日本高速道路株式会社四国支社が行い、用地買収及び損失補償業務を伊予市が行うこととなっている。また、国道56号との取付けや交通安全対策の分野においては、国土交通省や愛媛県警察との協議・調整を要することなどから、本事業の推進に当たっては関係機関と情報の共有を図り、連携を密に事業を進める必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	担当責任者が記載のとおり。特に今後の地権者への説明、全体会で事業進捗に努めなければならない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題